

- ② 3度目のSC認証を取得
- ③ 地方創生でまちに力を
- ④-⑤ **特集** あつぎの企業に学生が潜入
このまちで働く
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



打て！走れ！

あつぎ 元気Wave
12/1~CATVで放送

12月3~9日は「障害者週間」
手作り製品の展示・即売会

《日時》12月3・6・7日
10~14時

《場所》市役所本庁舎

《内容》市内の事業所で働く障がい者の皆さんが作ったアクセサリ・ポストカードなどの展示・販売。 ※製品は、厚木市まるごとショップ「あつまる」でも常時販売。

障がい福祉課 ☎225-2221

市内の事業所で働く皆さんの手作り製品を手にとってみませんか。

■制作・軽作業受注します■

障がい者の自立を支援するため、仕事を頼みたい企業などと、仕事をしたい障がい者就労施設の仲介をする受注窓口「てとて」を開設しました。

詳しくは **厚木市 てとて** 検索

障がい福祉課 ☎225-2221

「暖乃樺が打つよ」「頑張れ」。厚木第二小学校の校庭に、はつらつとした声が響きます。今日の体育は、土台に置いた球をバットで打つティーボール。濱口暖乃樺さん（5年・写真左）が打席に立つときは、チームメイトが車椅子を押して走ります。球を見つめる2人のまなざしは、真剣そのもの。周りからは自然と、応援の声が上がります。

暖乃樺さんが所属する5年2組では、教室でも過ごしやすいよう、机や椅子を移動させたり、届かない物を取ったりと、友達が当たり前の手を貸します。「体育が一番楽しい。座って授業を受けるよりも、みんなと一緒にできるから」とはにかんだ暖乃樺さん。友達と楽しく学び、笑い合いながら、日々心と体を育んでいます。

Zoom Up

安心で安全に暮らせるまちに 3度目のSC認証を取得

セーフコミュニティ

セーフコミュニティ（SC）は、市民と協力して安心・安全なまちを目指す取り組みです。11月にはSCの継続性や地域力などが評価され、3度目の認証を受けました。引き続き、地域と一体となって活動を進めていきます。

市のSCの取り組みは、2008年に始まりました。放置自転車や不法投棄など「怖い・危ない・汚い」の要素を改善し、安心して暮らせる安全なまちを目指してきました。

09年には統計データなどを分析し、市の課題を体感治安の向上・交通安全・職場の安全・子どもや高齢者の安全などの8分野に分けた対策委員会を設置しました。10年には国内で3番目となるSC認証を初めて受け、15年に再認証。今回で3度目の認証を取得し

ました。

市民協働によるまちづくり

SCの認証で評価されたのは、地域で継続している市民協働の活動です。市内では、子どもの安全を守るために登下校の見守りをする「愛の目運動」や、万が一の時に助けを求められる「かけこみポイント」の設置などを実施。他にも、高齢者の転倒などを防ぐための運動教室や啓発活動、自殺を未然に

防ぐゲートキーパーの養成や予防啓発キャンペーンを実施しています。

地域の見回りや小学生の下校の見守り活動などに取り組む厚木中央高校の風間かえでさん（1年）は「地域や小学生の安全を守りたいと思い週に2、3日活動している。若い方も地域の活動に参加し、安心して暮らせるまちをつくれれば」と話します。

できることから少しずつ

今年実施した市民満足度調査では、「健康で安心・安全に暮らせるまちづくり」の項目で約6割の方が満足していると回答。事故や犯罪も減少し（左下欄参照）、活動は着実に実を結んでいます。

「事故やけがは予防できる」というSCの考え方は、家庭でも生かされます。電気コードの整理や室内の段差を解消して転倒防止、熱い物を子どもの手が届かない場所に置くことやけが防止につながります。

安心・安全は、地域や自分の力でつくれます。自分に合ったSCの活動から始め、事故やけがの予防に取り組んでみませんか。

☎セーフコミュニティくらし安全課 225-2865



あつぎ 元気Wave
12/1~CATVで放送

認証旗と盾を持つ署名者（左から白石氏、井上市議会議長、小林市長、宮田自治会連絡協議会会長、押部厚木警察署長）



SCの継続や普及活動への協力などが記された合意書

地域で継続した活動を

一般社団法人
日本セーフコミュニティ推進機構
白石 陽子 代表理事 (52)

厚木市の特徴は、都会の中にも地域の絆が残っていることです。セーフコミュニティの取り組みでも、地域の方が率先して小学生の登下校の見守りをし、防犯に力を入れています。活動の継続には若い方の力も欠かせません。皆で活動に参加して安心安全なまちをつくりましょう。



セーフコミュニティとは？

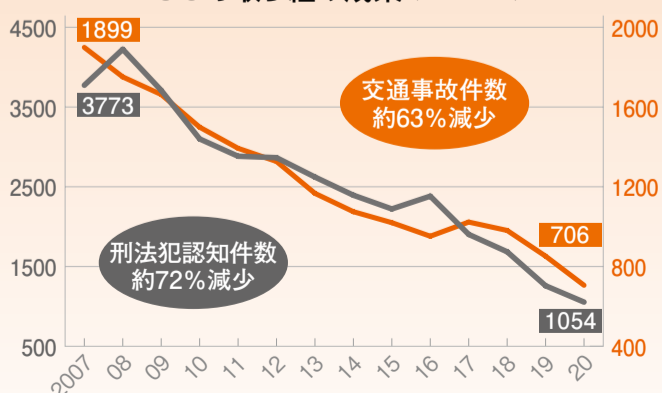


セーフコミュニティは「事故やけがは未然に防ぐことができる」という考えから、安心・安全で健康に暮らせるまちをみんなで作る取り組みです。

市ではデータの分析や、八つの対策委員会の設置など、問題解決に取り組んでいます。

- ①自殺の予防②職場の安全③交通安全④自転車生活の安全⑤体感治安と公共の場における安全⑥子どもの安全⑦高齢者の安全⑧防災

SCの取り組み成果 (単位: 件)



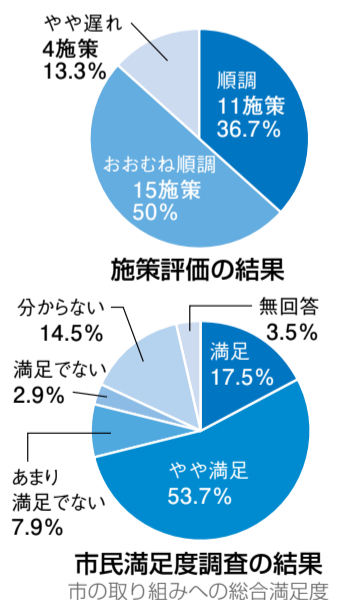
8割が順調・おおむね順調 施策評価の結果

施策評価は、将来のまちの方向性を定めた総合計画の進捗を検証する仕組みです。市民満足度調査の結果や保育施設への入所率、ごみの資源化率など、各施策の達成率を点数化し、4段階で評価します。結果は右のグラフのとおりで、遅延はありませんでした。

☎企画政策課 ☎225-2455

今回のポイント

- ・第9次総合計画の最終年度の取り組みを評価
- ・施策全体の8割以上が順調・おおむね順調
- ・満足度は37項目中32項目で上昇。特に高かったのは資源とごみの分別の取り組み、公園など緑豊かな生活環境の整備、地域医療環境の充実、環境美化の推進



外部評価の結果

学識経験者や市民の皆さんが、市の事業を評価する外部評価の結果がまとまりました。今年度は9事業を評価。結果に基づき、事業の改善を進めます。

評価結果	評価事業内容
拡大	小・中学校ICT化推進事業費
要改善	放課後児童クラブ運営事業費/小・中学校保護者負担軽減事業費/児童館維持管理事業費/老人憩の家維持管理事業費/自主防災隊育成・強化事業費/避難所運営強化事業費
現行どおり	自主防災隊連絡協議会補助金 避難所運営委員会運営費交付金

☎行政経営課 ☎225-2160



①近所に住む友人家族と談笑する達さん(左)②#niceatsugiの投稿写真を集めた写真展③小田急線の車両にポスターを掲示④プロジェクト会議の様子

niceatsugi

で市の魅力を発信中

インスタグラムやツイッターなどのSNSで「#(ハッシュタグ)niceatsugi」と検索すると、利用者が投稿した市内の情報が見られます。

毎月大賞を発表

皆さんの投稿から毎月7作品を大賞に選び、市HPや電子看板「あつナビ」で発表しています。身近にある厚木の魅力を発信しませんか。

公式アカウントでも情報発信中



市公式
インスタ
グラム



広報課
公式ツ
イッター

☎広報課 ☎225-2040

結婚を目指す人を応援



出会いを求める人を後押しするため、オンラインで婚活セミナーの動画を配信します。



▲視聴はこちら

内容 ①ヘアスタイル編

整髪料を使った効果的な髪の設定や印象が良くなるヘアスタイルなどを美容師が紹介

②ファッション編

婚活での服装選びのこつや時間・場所・場合に合わせたファッションなどを紹介

③話し方編

印象が良くなる話し方や場面に応じた言葉遣いなどを解説

配信時期 ①12月1日②③順次配信

視聴方法 市公式YouTubeチャンネルで公開

☎企画政策課 ☎225-2450

Zoom Up

住みたい・住み続けたいまちに 地方創生でまちに力を

地方創生は、将来見込まれる人口減少に対応するための取り組みです。市では2016年に地方創生推進プロジェクトを発足。今後も選ばれるまちを目指し、施策の充実や効果的な魅力発信を進めています。

若い世代に魅力を発信

少子高齢化による人口減少は、全国共通の課題です。市では将来を見据え、5年前から合計特殊出生率の上昇と定住促進を目標に掲げ、魅力の発信に取り組んできました。幅広く市民の声を取り入れるため、市内で働く人や大学生などをつくる地方創生推進プロジェクトを発足。イベントの企画や発信方法の検討をしてきました。

プロジェクトでは、人口動向に影響の大きい20〜30代の若い世代に働き掛ける方法を議論。「市内の学生が厚木のことを知る機会がない」「魅力が市外に伝わっていない」などが課題として挙がりました。

そこで、市内の若手社員が魅力や働きやすさを大学生に紹介するワークショップや、首都圏在住の女性を対象にした市内の撮影ツアーを開催。さらに、市民自身が気軽に市の魅力を発信できるSNSのハッシュタグ「#niceatsugi」を作成しました。徐々に関心を集め、現在は3万件近くの投稿があります。

住みやすいまちをPR

また、結婚を希望する人の支援にも力を入れ、婚活ツアーやセミナーなどを毎年開催。9組が成婚に至っています。

魅力発信と併せて、子育て施策の充実や転入者への補助金(下欄参照)などで、住む場所を選んでもらうまちづくりを進めてきました。昨年は「FULL HOME」の借りて住みたい街ランキング(首都圏版)で本厚木駅が一位となるなど、関心が高まっています。

9月に東京から引っ越して来た達紀寿さん(46・上荻野)は「友人が厚木に住んでいて、自然の多さやアクセスの良さで引かれて越して来た。地域の人もいい人ばかりで楽しく、とても住みやすい」と笑顔を見せます。

住む場所として厚木を選んでもらうには、厚木を知らない人にも魅力が届くよう、効果的な発信を続けることが大切です。これからも多くの人にとって住みたい・住み続けたいまちで在り続けるため、広く厚木の魅力を届けていきます。

☎企画政策課 ☎225-2450

厚木で暮らそう

厚木で暮らすことを考えている方のために、補助金などを整備しています。

☎住宅課 ☎225-2328



厚木市 住宅 補助 検索



親元への近居・同居を応援 要事前相談

市外に住む子世帯が、市内の親世帯と暮らすための住宅取得や改修を後押しします。

対象者 ①親世帯が1年以上市内在住②補助対象住宅に3年以上居住予定③購入または工事の契約者一の全てを満たす市外に1年以上在住の子世帯

住宅取得補助金 子世帯が市内に家を新築・購入する費用を補助

住宅改修補助金 市内の親世帯との同居に必要な修繕や増築の費用を補助

子育て世帯のマイホーム購入を応援

若い世帯が市内で住宅を購入する費用を補助します。

対象者 ①世帯主または配偶者が40歳未満②中学生以下の子がいる③3年以上居住予定一の全てを満たす世帯
対象住宅 所有権の保存または移転の登記から6カ月以内の市内の住宅・マンション

☎対象住宅に住民票を移した後、住宅課や市HPにある申請書などを、登記完了から6カ月以内に直接、住宅課へ。

	住宅取得		住宅改修
	同居	近居	同居
基本額	60万	40万	対象経費の1/10(上限20万)
中学生以下の子がいる			10万
子世帯夫婦のどちらかが40歳未満			10万
定住促進地域※に住宅を取得			10万
1年以上市内に通勤			10万
最大補助額	100万	80万	60万(対象経費の1/2以内)

	補助金額
基本額	20万
定住促進地域※に住宅を取得	10万
1年以上市内に通勤	10万
最大補助額	40万

※依知北、睦合北、荻野、小鮎、玉川、緑ヶ丘、森の里、毛利台1〜3丁目、王子1丁目



館内の展示物や装飾なども目に留まるよう配置

販売促進が担当の大木さん。お客さんだけでなく、館内の店舗を回って従業員の声にも耳を傾けています。モチベーションにつながれば、従業員向けのイベントも開催してるんです。



HAKKEN! 思いを形にする

ミロードは、一見大人の雰囲気がある商業施設の印象でしたが、大学と協力したイベントも企画・開催しています。

大木さんは「買い物だけでなく、ふらっと寄り道もできる新たな憩いの場になれば」と話してくれました。イベントや居場所づくりなど若い世代にも寄り添っていて、自分の思いを形にできる仕事は魅力的だと感じました。



メールや電話の事務仕事も多い

お客さんはもちろん、従業員の方たちから「ありがとう」と言われるとやりがいを感じるという大木さん。営業だから、経理だからと線を引きのではなく、皆で支え合える雰囲気づくりを目指しているそうです。

本厚木 ミロード



本厚木駅前の商業施設として市民になじみ深い。地域に寄り添ったさまざまなイベントの企画・運営も手掛けている。

案内人はこの方！
販売促進マネージャー
大木 真緒さん(25)



このまちで働く

あつぎの企業に
学生が潜入

市内に五つの大学や多種多様な企業が数多くあることは、まちの魅力の一つです。今回、5大学の学生でつくる「あつぎにぎわいアドベンチャー隊」が、あつぎの企業に潜入。「厚木で働くとどんな感じ？」を体験しました。

商業にぎわい課 ☎225-2840

潜入取材したのは私たち！

本厚木ミロードに潜入！



東京農業大学
後藤 美珠さん(21)

松蔭大学
加藤 賢之さん(19)

湘北短期大学
渡辺 ゆきさん(20)

あつぎのえいがかんkikiに潜入！



東京工芸大学
岩淵 広虎さん(20)

神奈川工科大学
渡邊 悠さん(18)

HAKKEN! 人から見えない仕事も全力で

販売促進は、お客さんと直接関わる仕事ではなく、どちらかといえば裏方の仕事だと思います。

工夫や努力を重ね、見えないところで誰かの支えになる姿に感銘を受けました。取材を通して普段は見られない仕事を知れて、将来の選択に視野が広がった気がします。



HAKKEN! 「地域密着」が生み出すもの

イベントの参加者は地元の方が多くいます。コロナ禍でのイベントは、苦勞しながらも開催できたと聞きました。継続してできるのは、地域を第一に考え、密着した活動を続けていたからだだと思います。地域とのつながりが強く、人との関係性が築けるのは、働く上で大切なことではないでしょうか。

HAKKEN! スタッフの温かさ

館内に張り出しているお客様のリクエスト。その1枚1枚に金木さんが目を通し、手書きで返事を書いているのに驚きました。

お客さんとの距離も近く、取材した日も、金木さんとお客さんが笑顔で会話していて、普段僕が行く大きな映画館との違いにちょっとビックリ。温かい雰囲気の中、スタッフの皆さんは生き生きと働いていました。



開場時間はスクリーンに案内

受付箱には、多い時に1日15枚の用紙が入っていることも。上映する作品は主に金木さんが決めていますが、少しでも要望に応えたいと、スタッフなどに相談することもあるそうです。



届いたメッセージに返事を書き掲示している

あつぎのえいがかん kiki



案内人はこの方！
支配人代理
金木 翼さん(27)

アミューあつぎにある、市内唯一の映画館。独自の判断基準で上映作品を選ぶミニシアターとして、地域に根付く理由を調査した。

支配人代理
金木 翼さん(27)

HAKKEN! 小さな積み重ねが大切

公開作品を1週間程度で入れ替えるため、頻りにポスターを張り替えています。スタッフの皆さんが丁寧に作業していました。

他にも、作品内容を紹介するチラシを手作りするなど、お客さんに映画を見てもらいたいという熱意を感じました。小さな仕事の積み重ねが、親しみを持って場所づくりにつながっていると感じました。



手書きで返信する金木支配人



館内ポスターの張り替え

厚木を知り、選んでもらえるように

地方創生推進プロジェクト
実行委員長 山下 ゆかりさん



市内には五つの大学がありますが、実は卒業生の市内への就職率は、まだまだ伸びる余地があります。まちづくりワークショップを開くと、まちの理想像や豊かなアイデアを持つ学生と多く出会います。こうした皆さんに厚木を選んでもらうには、市や企業、地域など、さまざまな立場の方が、学生を活動やコミュニティに巻き込むことが大切なのではないでしょうか。まちを知り、愛着を深めることで、「住みたい・働きたいまち」の選択肢になるのだと思います。



見るには？

市HPで閲覧
または産業振興課で配布

市内の企業を紹介 あつぎ企業仕事ナビ2021

市内企業105社の仕事内容や雇用情報などを、業種ごとに掲載した冊子です。社内風景や就職を考えている方向けのメッセージなども紹介。市内での就職や雇用に役立てませんか。

あつぎ企業仕事ナビ 検索

産業振興課 ☎225-2832

あつぎにぎわい アドベンチャー隊って？

厚木のまちを盛り上げるため、市内5大学の学生が活動しています。今年は市内商業施設と協力し、ハロウィン・クリスマスラリーイベントを開催。SNSも活用し、学生ならではの目線で厚木の魅力を発信しています。



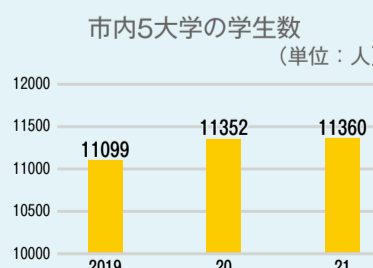
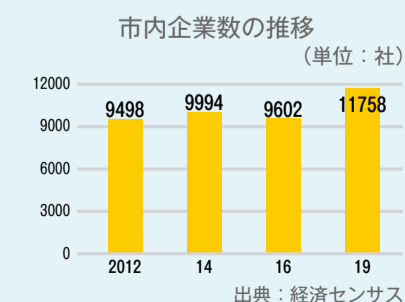
Instagram



Twitter



ハロウィンイベントではメンバーも仮装した



12月1日
申し込み
開始

あつぎ飲食店応援 電子商品券

5000円分の商品券を3000円
で販売します。購入方法と使用
方法をお知らせします。
☎商業にぎわい課 ☎225-2840

購入方法

☑専用HPで、12月1
～14日に受け付け。
抽選。17日以降に決
定のEメールが届い
たら、右の手順で電
子商品券を購入。

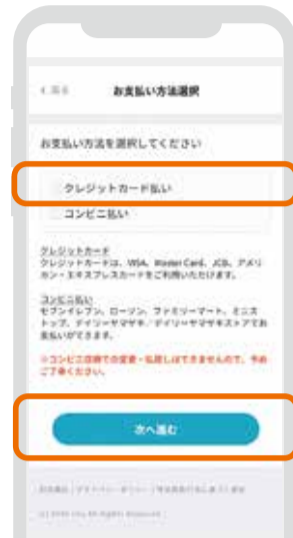
※③でコンビニ払い
を選んだ場合は、
表示される画面の
手順に従いコンビニ
エンスストアで
支払い



①販売サイトを開き登録・
ログイン



②購入する商品券を選択



③希望する支払い方法
で決済(購入)

※コンビニ払いは左欄参照



④購入済みの商品券が
表示される

使用方法

購入した電子商品
券を、使用可能な店
舗で表示し、右の手
順で支払い。

購入や使用可能店舗
の検索はこちら



①電子商品券を表示し読
み取りボタンを押す



②二次元コードにカメラを
向けると自動で読み取り



③使用額を入力し、支
払い確定



④支払完了画面を店員
に提示



第2回 みんなで! SDGs

持続可能な社会を目指す世界共通の目標「SDGs」。その達成のために17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標12 つくる責任 つかう責任
大量生産・消費は経済を発展させる一方、資源の減少や環境汚染を引き起こします。作る人も使う人も、持続可能な生産・消費方法を考え、行動しましょう。



できる取り組みは?

食品ロスを減らす

次のポイントを意識し、食べられる食材が捨てられる食品ロスを減らしましょう。

- ・買い物の前にストックを確認
- ・食べきれない分だけ買う
- ・食べきれない食材は冷凍保存
- ・商品は棚の手前から取る



不要な食品は「フードバンクあつぎ」へ



買い物は必要な分を選んで

洋服を大切に着的

1枚のTシャツを作るのに2000ℓ以上の水が使われるなど、店頭に並ぶまでに多くの環境負荷が掛かっています。洋服などの衣類は長く大切に使い、資源を守りましょう。

☎企画政策課 ☎225-2450

12月から金田地区で、新たなごみ中間処理施設の建設が始まります。老朽化しているごみ処理施設の建て替えは、市長就任当時から最重要課題の一つに位置付けてきました。地域の皆さまの協力を得ながら心血を注いで取り組んできた事業なので、無事に着工でき、大変感慨深いです。金田地区をはじめ、ご協力いただいた全ての皆さまに、心から感謝を申し上げます。

村が共同で整備を進める初の事業でもあり、三市町村の連携を象徴する施設となるでしょう。ごみは、日常生活で誰もが毎日出すもの。環境に配慮した新たな施設の建設は進みますが、環境を守るためには一人一人が考え、行動を変えていく必要があります。この施設の建設が、環境に優しい持続可能な暮らしを考えていただくきっかけになればうれしいです。



新しい施設の完成イメージ

新施設は、最新の排ガス処理設備で環境負荷を低減する他、焼却熱を使った発電効率が現施設の2.5倍に高まり、より環境に優しい施設になります。災害対応力も強化し、災害時にも機能を維持できるように設計。厚木市・愛川町・清川

タウンガイド

12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ☎=ファクス番号 ☎=Eメール HP=ホームページ
 ☎=講座予約システム(☎印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「☎」と記されたものは、申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「輝く幻想的な光」

#10月23日撮影

#イルミネーション

#本厚木駅北口

#niceatsugi

広報課公式インスタ

タグラムで公開中



新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)

感染の不安のある方、健康・医療の相談、診療ができる医療機関の案内など

☎0570-056-774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

斎場施設見学会

12月19日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☎12月1～18日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

くらしの経済講演会in厚木

2月3日、14～16時。文化会館。タレントのバックンマクソンによる日米の家庭での経済事情の講演。定員300人。無料。☎電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号を書き、1月20日までに消費生活センター☎225-2155・FAX294-5801へ。抽選。☎2116002。

後期危険物取扱者保安講習会

1月28日、1種(給油取扱所)=9時40分～、3種(一般)=13時20分～(各回180分)。文化会館。法令や危険物災害と予防対策、施設の安全管理などの講習。危険物取扱者免状を持つ方各回150人。4700円(県収入証紙代)。☎消防本部や分署などにある申請書を郵送で、12月3日～1月7日(消印有効)に〒238-0011横須賀市米が浜通1-7-2-204県危険物安全協会連合会へ。先着順。☎予防課☎223-9369。

あつぎ郷土博物館の実習生を募集

学芸員を目指す実習生を募集します。
《対象》 2022年4月1日現在、大学4年生以上で、博物館の基本に関する科目を修得した方3人《期

間》7月1日～9月30日の指定する8日間。☎事前に電話であつぎ郷土博物館に連絡し、市HPにある申込書を、直接または郵送で12月1～28日(必着)に〒243-0206下川入1366-4あつぎ郷土博物館☎225-2515へ。詳しくは市HPに掲載。



12月11～20日は年末の交通事故防止運動

市内では今年、5件の死亡事故が起きています。年末は、交通量や飲酒の機会が増え、交通事故が増えます。交通ルールの順守と交通マナーの向上に取り組み、事故を防ぎましょう。

■厚木警察署交通部隊の出発式

12月4日、14時15分～。厚木中央公園。県警音楽隊によるドリル演技など。当日は、東京五輪女子ソフトボールの金メダリスト山田恵里選手が一日警察署長として参加。☎交通安全課☎225-2760。



ホストタウン交流事業展

～ニュージーランドと歩んだ2000日間～



東京2020大会のNZのホストタウンとして歩んだ2000日を振り返る展示会を開催します。

期間 12月16～20日 10～17時

場所 あつぎ市民交流プラザ

内容 交流写真やキャンプ中の映像などを公開、NZチームからの贈り品(ユニフォームやボールなど)を展示

来場者特典でNZの菓子などを配布(数量限定)。

☎当日直接会場へ。

詳しくは [厚木市 ホストタウン 展示](#) [検索](#)

☎企画政策課☎225-2451

博物館の臨時休館

12月7日、13～18日は展示撤去、施設のくん蒸のため休館します。敷地内も立ち入り禁止。☎あつぎ郷土博物館☎225-2515。

12月4～10日は人権週間

人権は、誰もが生まれながらに持っている権利であり、尊重されるべきものです。この機会に人権の大切さを考えましょう。☎市民協働推進課☎225-2215。

片付けは計画的に

年末の掃除には早めに取り掛かり、計画的にごみを処分しましょう。掃除後に出たごみは分別して集積所へ。環境センターに持ち込めるのは、粗大ごみとせん定枝です。粗大ごみの戸別収集や環境センターへの持ち込みは事前予約制。☎環境事業課☎225-2790。

社会保険料控除の対象となる保険料額の通知

2021年中に納めた①国民健康保険料②後期高齢者医療保険料③介護保険料は、所得税や市・県民税の申告時に社会保険料控除の対象となります。対象者には1月中旬に通知。☎国保年金課①☎225-2123 ②☎225-2223③介護福祉課☎225-2393。

低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外)

新型コロナウイルス感染症で経済的な負担が増えた低所得の子育て世帯に、給付金を支給します。
《対象》 ①2021年3月31日時点で18歳未満の子ども(特別児童扶養

手当の対象となる場合は20歳未満)を養育する父母など(21年4月～22年2月に生まれた子どもも対象)②21年度の住民税(均等割)が非課税または21年1月以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった③所得の申告をしている一の全てを満たす方(ひとり親世帯分も含め、すでに給付金を受け取った方を除く)《支給額》子ども1人当たり5万円。☎市HPにある申請書と必要書類を、直接または郵送で22年2月28日(必着)までに〒243-8511子育て給付課☎225-2118へ。対象の子どもの児童手当または特別児童扶養手当を受給する21年度住民税非課税の方は申請不要(対象者には通知)。詳しくは市HPに掲載。

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》

- 施設の使用料改定
 《閲覧期間》12月1日～1月4日。
 ☎行政経営課☎225-2160。
 - 公共施設最適化基本計画改定、公共施設個別施設計画
 《閲覧期間》12月1日～1月4日。
 ☎行政経営課☎225-2099。
 - パートナーシップ宣誓制度
 《閲覧期間》12月1日～1月4日。
 ☎市民協働推進課☎225-2215。
 - ◆第3次市立病院経営計画
 《閲覧期間》12月6日～1月7日。
 ☎経営管理課☎221-1570。
- いずれも《閲覧場所》各課窓口、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市HP(◆は市立病院HP)《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市 インターネットモニター [検索](#)

☎広報課☎225-2043

11月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆市がどのようにデジタル技術を活用してきたのかよく分かった/70代男性 ◆デジタル化までの推移が年表に分かりやすくまとまっていた/50代女性 ◆コロナで人とのつながりが薄れているので、人と地域をつなぐ活動は大切だと思った/40代女性 ◆窓口に行かず市のサービスを受けられるデジタル化の実現に期待/50代女性 ◆市内で見られるイルミネーションをもっと教えてほしい/30代女性

編集後記

市内の学生と一緒に企業に潜入取材をしました。まだ「働く」ことに実感が湧かない学生たちでしたが、普段聞けない話や現場に目を輝かせ取材していました。取材後は「こんな仕事もあるんだ」「仕事のイメージが変わった」など気持ちにも変化があったようです。将来を担う若者たちが今回の紙面をきっかけに、このまちの魅力に興味を持ち、最終的に市内で働くことを選んでくれたらうれしいです/森

あつぎ鮎まつり デザインコンクール

次回の「あつぎ鮎まつり」のポスターなどに使うため、デザインコンクールを実施し、265点の応募がありました。主な入賞作品を紹介します。(順不同。敬称略)
☎観光振興課 ☎225-2820



詳細はこちら



北小学校5年 佐野 京香さん

小学生以下の部 最優秀賞

来年の鮎まつりのポスターにも使われると聞き、とてもうれしいです。厚木中央公園から毎年見ていた花火と、写真で見たナイアガラ花火とアユから想像を膨らませて描きました。来年は、相模川の河原で花火を見たいです。

「メモリーズ あつぎ鮎まつり」を配信

次回の開催を祈り、鮎まつりの記憶を写真で振り返るスライド動画を作成しました。



▲こちらから

絵画の部

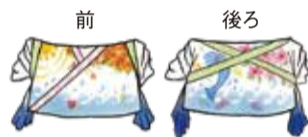


中学生の部
最優秀賞
田口 絵子



一般の部
最優秀賞
不破 舞

あゆコロちゃん衣装デザインの部



最優秀賞
祝田 喜美子

ロゴマークデザインの部

最優秀賞
本田 友里



花火玉デザインの部



きれいで賞
渡辺 董

スタイリッシュで賞
渡邊 亜莉沙

ユーモア賞
鶴田 珠子

すばらしいで賞
刘 子涵

The鮎まつりで賞
青木 純子

映えるで賞
鈴木 健志

かわいいで賞
仁木 いづみ

おしゃれで賞
松永 絢菜

ナイスセンス賞
河村 ひろみ

びっくりしたで賞
内田 良彦

自然歳時記

● ふたご座流星群 ●

上弦を過ぎた月の明かりで、見えにくかった星空が、夜半を過ぎるとはっきりと現れてきた。その時オリオン座の横を一筋二筋と流星が落ちていった。飯山、大山の連山が見える広い農道で数年前に見つけた。 写真・文 吉田文雄



冬の澄み切った空に輝くオリオン座は、全天の中でも見つけやすい星座だ。赤いベテルギウスと青白いリゲルの1等星がよく目立ち、中央に2等星の三ツ星が並ぶ。その下にある小三ツ星の中に、M42オリオン大星雲が薄赤く見える。三大流星群と呼ばれる「しぶんぎ座流星群」「ペルセウス座流星群」「ふたご座流星群」は、流星が多く観察して楽しい。14・15日の夜半は、月が沈み星空が輝く。「ふたご座流星群」は西の空から放射状に流れるため見つけやすい。防寒対策をして、大空の豪華な流星ショーを楽しみ、明日、そして来年への糧としたい。

ウス座流星群」は、流星が多く観察して楽しい。14・15日の夜半は、月が沈み星空が輝く。「ふたご座流星群」は西の空から放射状に流れるため見つけやすい。防寒対策をして、大空の豪華な流星ショーを楽しみ、明日、そして来年への糧としたい。

厚木市の人口
(11月1日現在)

🏠 世帯数 10万1536世帯 (前月比89世帯増)

👤 人口 22万3853人 (前月比40人増) 男11万5318人・女10万8535人